

東日本大震災復興支援
宮古市、福島県避難所
—物資、食糧支給—

One for all
All for one

2011.3.11 東北地方太平洋沖地震 復興にむけての想い

尾道ラーメン炊き出し

NPO法人Happy Japan Project企画

第二回尾道ラーメン炊き出し

場所:岩手県宮古市赤前小学校

2011年5月30日(月)

ラーメン150食、青汁人数分、煎餅一箱、数珠50個寄贈

特定非営利活動法人
Happy Japan Project
(東京を拠点に活動)



&

NHK朝ドラ「てっぱん」
をきっかけに出会った人達



&

尾道ラーメン
The☆どにち家
(東京西新井大師のラーメン屋)



尾道と言えば、NHK朝ドラ「てっぱん」のロケ地。

今回はてっぱんで初音おばあちゃん役の富司純子さん、寒い尾道ロケで食べたがんに屋ラーメンの味は、忘れられませんが、及ばずながら私も参加させて下さい」と、活動資金を寄付して下さい、今回の炊き出しが実現しました。

てっぱんの鉄兄役の森田直幸君も私達の活動に賛同してくれ、お手伝いに来ようとしてくれたのですが、残念ながら撮影が入ってしまったため、メッセージだけでも参加したいと連絡をくれました。

富司純子さん

新企画「One for all All for one」

被災地の方々への応援メッセージを宮古に届けてきました。
東北でもてっぱんは沢山の人が見ていたので、大変喜ばれました。
メッセージを下された人

「富司純子さん、寺島しのぶさん、森田直幸さん、HJPの仲間達」



家を無くされ、仕事も無くされ、
ご親族を亡くされ、悲しくやりばのない
悔しさ、厳しい環境の中で日々を
過ごされていらっしゃる方々に
お慰めの言葉……も見つかりません、
ただただ胸を痛めております、
どうか、希望を棄てないで、
負けないで下さい。
一日も早く皆様に笑顔が戻られ、
平穏な日が訪れることを祈念しております
、細やかですが自分出来ることを
その日まで…

富司純子

この度の震災で亡くなられた皆様に
心よりご冥福をお祈りします。
そして大切なものをなくされた
皆様のお気持ちを思うと同じ
日本人として心が痛み何をすべきかを
私自身も色々な方たちと話し合っ
て模索しております。
皆様が何とかこの苦難を
乗り越えられますように。
一日も早い復興を心よりお祈りします。
一緒に踏ん張りましょう。 寺島しのぶ



今回、震災により亡くなられた方、悲しい思いを
された方の気持ちを思うとすごく心が痛みます。
ご冥福お祈り申し上げます。
自分としても、何かできることはないかと
すごく考えました。現地に伺いたかったんですが、
仕事で行けなくなってしまいました。
つたない言葉で申し訳ありません。
一日も早く復興できることを心より祈っています。
森田直幸

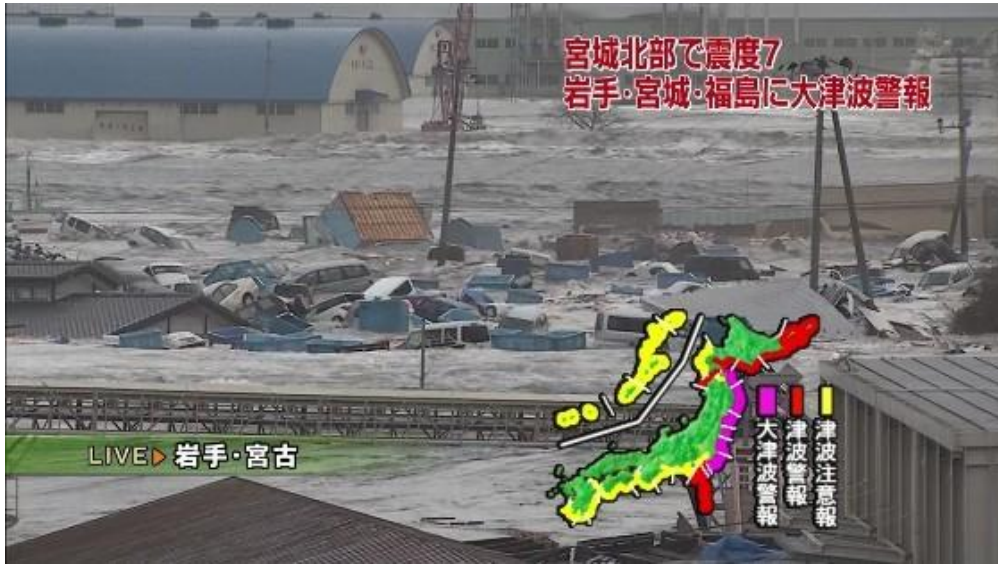


岩手県宮古市

東日本大震災で津波被害を受けた岩手県宮古市の

田老地区で、陸地の斜面をさかのぼって到達した津波の高さ(遡上高)が37.9メートルにまで達していたことが分かった。

田老地区にある小堀内漁港周辺の漂流物などを調査の結果、海岸線から約200メートル離れた山の斜面にまで、海水に押し流された材木が到達していたことが分かった。



5月30日(月)午前6時半 花巻を出発。

午前8時に宮古市待ち合わせ場所「区界高原」に到着。天候は台風の影響で雨。

雨は宮古に近づくにつれてどんどんひどくなっていく。気温は12度と寒かった。

宮古は津波の被害を受けた所と聞いていたが、宮古に入ってから被害を受けてる場所が見当たらず、「そんなにたいした被害じゃなかったのかな?」と一瞬思ったが、海沿いに着いたらその想いは吹き飛んだ。



赤前小学校

着いたのは宮古市の赤前小学校。生徒さん40人くらいの小さな学校です。
その学校の下に行った所に集会場になってる避難所(仮設住宅が出来てるそうです)があるという
事で、そこでやる予定でしたが、雨で下に降るのが危険なので(来る時の道もかなり危険でした)
校長先生のご好意で小学校の玄関でやらせて頂ける事になりました。
テントを組まなくていいので、楽に炊き出しの組み立てが出来ました。
子供達は給食があるので、避難所の方々にと言う事でした。



今回のメンバー

島田薫 (HJP副理事、荏原商事社長)

池永憲彦 (HJP理事)

田口真吾 (the☆どにち家や大将、たぐち塾煎餅常務)

芳賀店長 (the☆どにち家や店長)

今回は場所が遠いこともあり、最小限のメンバーで向かった。



また今回はHJPの理事長が取り扱っているキューサイ青汁も提供しました。
被災地は野菜不足から口内炎になる方が多いとか。
少しでも栄養を補充してもらうためにお配りしました。とても喜んでもらえました。



ミラクル！

第一人目のお客様には驚きました。
カズと縁があった人でした。カズがお世話になっている
尾道の松愛堂の社長の息子さんの先輩で、
昔東京の因島ふるさと会で一緒に飲んだ事ある人が、
お母さんと一緒に来てくれました。
こんな遠い場所で再会出来るなんて感動しました。
彼は宮古に戻ったけど家が流されてしまい、仮設住宅に
過ごしてるとの事。
渾身の一杯を食べてもらいました。



台風が留まっている為、どんどん雨風が強くなり、食べに来てもらえるか
どうか心配でしたが、12時を過ぎた頃に避難所の方々が食べに来てくださいました。

皆さんから頂いたメッセージを
ラーメンが出来上がるまでの時間に
見て頂きました。
皆さん富司純子さんのメッセージにびっくり。
この炊き出しの経緯をお話すると感銘を受け、
「富司純子さんに本当にありがとうございましたと
お伝え下さい。私達ガンバります！」
というお言葉を頂きました。
てっぱんの鉄兄こと、森田直幸君が来てくれよう
とした事を伝えると残念がってました。



ラップで包んで「主人が喜ぶから持って帰ってあげるんだ」と、笑顔で避難所に帰っていかれたのがとても印象的でした。



子供達はなんと、給食の後に
食べにきました。
「おいしい！！」
「半ラーメンください！」
と、少しでも食べれるように
半ラーメンメニューが出来上が
りました。
子供達の笑顔には
逆に元気もらえます。
早くこの子供達が安心して暮らせる
毎日になりますように。



突然現れた阿部晋三元総理。HJPの活動と富司純子さんの
心に熱く心を打たれておられました。



一人ひとりが手をつなぎ、笑い声いっぱい
笑顔あふれる未来を創ろう！ がんばろう赤前小学校！





今日出会った宮古の人達の笑顔を見て

「この方々が今、日本中の人達に勇気と希望を与えてる人なんだ」って思いました。
「この方々が全世界から誇り高き日本人として賞賛されてる人なんだ」って思いました。

胸の奥からこみあげてくるものを感じ、お別れの時に
心から「ありがとうございます」って言いました。

日本がもっともっと一つになりますように！

悲しいニュースに慣れませんかように。

一日も早く安心な毎日になりますように。

NPO法人Happy Japan Project企画

第三回尾道ラーメン炊き出し

場所:福島県郡山市ビックパレット避難所

2011年6月18日(土) 総勢12名

ラーメン350食、青汁800人分、煎餅一箱

名目:放射線被ばくの影響から強制的避難を強いられている福島県の避難者の皆さんへの炊き出し支援



第四回尾道ラーメン炊き出し

場所:福島県耶麻郡大字若宮字横向

「ホテルプルミエール箕輪」猪苗代湖

2011年6月24日(日) 総勢10名

ラーメン200食、青汁人数分、煎餅一箱

名目:放射線被曝の影響から強制的避難を強いられている飯館村からの180名の避難者の皆さんへの炊き出し支援



福島県富岡町、川内村

福島第一原発の半径20～30キロ圏にあり、政府から屋内退避を指示された福島県川内村の村民らが16日、圏外の郡山市に向けて「全村避難」を始めた。

第1陣を率いて16日午後、同市にある避難所「ビッグパレットふくしま」に着いた猪狩貢副村長によると、原発に対する不安が住民の間で高まっているためという。

猪狩副村長は「第一原発は刻々と状況が悪化している。屋内避難から丸1日以上がたち、家にこもりきりではお年寄りには介護が受けられず食事もできない。住民の不安は限界に達していると自主判断した」と話した。

副村長によると、この日朝、村内に残っていたのは村民約3千人のうち約1200人と、原発により近い富岡町から村に避難してきた町民約4千人。

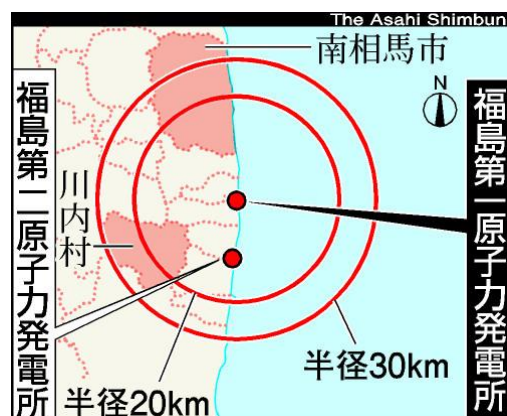
全村避難は、川内村と富岡町でつくる合同災害対策本部で決定。

住民らはバス14台をピストン輸送するなどして郡山市へ運ぶ。遠藤雄幸村長は最後のバスで出るという。

いわき市との境に近い川内村手古岡の自宅から避難してきた須藤敏男さん(44)は、母(77)と姉(53)、兄(48)の家族と自家用車でビッグパレットにたどり着いた。

16日午前9時半に村の防災無線から「全員、強制的に避難してください」というアナウンスが流れ、車がある人は相乗りで、ない人は各集落ごとに集合してマイクロバスで郡山に向かうよう指示があったという。「何が何だか分からないまま指示通り避難したが、これからどうなるんでしょうか」と話した。

県によると、20～30キロ圏内の住民と避難所にいる人は計約14万1千人。川内村のほか、飯館村と南相馬市も住民の圏外への避難を求めているという。



主を失った町は少しずつゆっくりと死に向かっているかの様に、ただ静かにそこにある。

Photo essay by Daichi Koda (富岡町)

福島県飯館村

戸惑う飯館村「説明もなく“急に逃げろ”とはどういうことか」

「突然すぎる」「もっと早く決断できなかったのか」。政府が11日、避難指示区域の拡大に備え、計画的に住民全員を避難させるよう要請した福島県飯館村。住民の間には、政府や村に対する不信感と戸惑いが広がった。

この日の枝野幸男官房長官の記者会見に合わせ、飯館村では村議会の特別委員会が開かれ、菅野典雄村長は政府からの「計画的避難区域設置」について議員や村民に説明した。

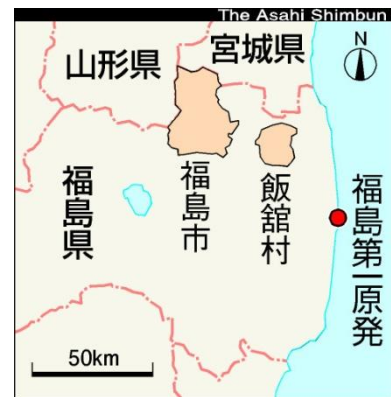
「国には地域ごとに分けるなどして、数値の高い地域の人は移動させ、低い地域の人は残ることはできないのかなどと提言してきたが、残念ながら難しい」

菅野村長は理解を求めたが、議員らから「突然すぎる」などと反発の声も。農家の男性(27)は「村と国のこれまでの話し合いについて説明もなく“急に逃げろ”とはどういうことか。村はなぜもっと早く決断しなかったのか」と話した。

特別委員会では門馬伸市副村長が厳しい表情で「1カ月以内を目安に避難させたいと言われたが、急には無理なので国と県とで協議したい」と述べた。

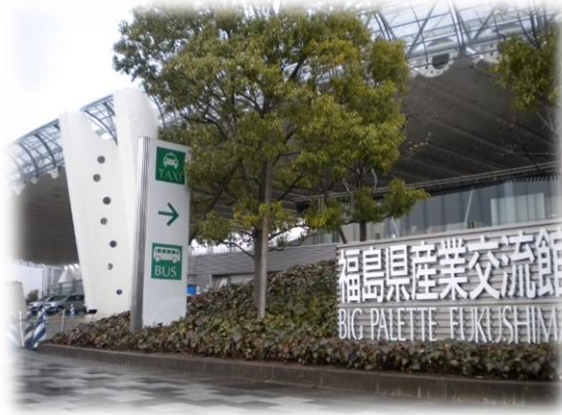
福島原発の事故後、富岡町と川内村から今まだ、1000人以上の方が避難している。ピーク時には2000人を超えていたそうだ。

段ボールで仕切りを作り、床の上に毛布一枚を引いたプライベートのない環境の中ですでに3カ月を迎えようとしている



郡山ビックパレットふくしま

総勢12名でついたのは郡山のビックパレットふくしまという避難所。
今回は陸前高田や宮古の沿岸地区と違って
原発の問題で避難してる方々がいる場所での炊き出しでした。
700人おられる中での350食が僕らの担当でした。(他の炊き出し班もいるので)



今まで行った場所とは全く違う雰囲気でした。
うまく説明は出来ませんが、そう感じました。
どっかかと言うと現場はピリピリした感じも
見受けられました。
家はあるのに、原発で突然強制避難させられて見通し
のつかない世の中。国の対応にみなさんイライラされて
る様子。
その中での炊き出しも最初は多少の緊張感もありまし
た。



また今回も、HJPの理事長が取り扱っているキューサイ青汁も提供しました。
被災地は野菜不足から口内炎になる方が多いとか。今回は宮古以上に喜ばれました。
時間が経てば経つほど、栄養不足になってしまうというのが理由だと思います。
供給される食事は炭水化物ばかり。少しでも栄養を補充してもらうためにお配りしました。とても
喜んでもらえました。尾道ラーメンが出来上がる前に、沢山の方に飲んで頂きました。



またまたミラクル！

今回救急医療のチームで来ていた方はカズと縁があった人でした。カズの前にやったバンドのLIVEにも来てくれてた尾道の人でした。またまたこんな遠い場所で会えるなんて世の中狭いです。



午前11時頃にはもう並び始めて、今までに見た事もない長蛇の列が出来ていました。

今回は小堀理事長の手配で、さすがと言うくらいきちんとしました。

HJP以外にも小堀理事長のお友達が駆け付けてくださりました。今回は炊き出し場所が決まるのがぎりぎりで、HJPのメンバーには告知も遅くなってしまったのですが、避難所や現地の時間の流れは早く、人数の変動も多いので、かなり特定するのに難しかったのです。

今回来てくれたHJP仲間は全員現地までの交通費は実費。当たり前のように来てくれるんだから、いい仲間を持ったなと再確認です。今は出来る人が手を取り合い、日本が一つにならなきゃいけない時期です。

一人、一人の意識が大きな支援に繋がります。

今回は350食。一食茹であげ一分、二食ずつ茹であげて175分。

盛り付けがあるから二食100秒としてもやはり291・6分

二食を時間差で茹でていくから、1・5で割っても194分かかります。

だいたい合ってました。だから、温度下がったり、今回はハブニングにはかなり弱いシステムだったので途中何度か焦った事もありましたが、沢山の人が喜んでいただけました。



今回写真はないですが、皆さんから頂いたメッセージをラーメンが出来上がるまでの時間に見て頂きました。その後富岡町長さんにお渡しいたしました。「富岡町長さんの笑顔を久しぶりに見た」という言葉が出てくるくらい、今回の炊き出しは喜んで頂けたという事とそれ程の毎日をご過ごされているという事です。



総勢12名の仲間達。ここでの出会いは何か違います。

宮古と違うのはやはり女性陣の力！！炊き出しに女性がいるとやっぱり違います。この女性特有の温かさをもた、被災地に届ける大切なものだと思います。世界三大贅沢の一つに「日本人の嫁」が入ってる理由をうすうす感じている次第であります。



左から二番目の方は政治家の平沢勝栄さんの奥様



避難所の人の中には中には新築で入る前に地震がきて避難させられ、ローンだけ残ってる人もいるそうで、聞いていられない話ばかりでした。郡山の避難所は少し前までは2400人いたそうです。それだけの数がいたら色々な問題も起きやすいでしょう。実はこの時に聞いた話ですが、避難所で初めて、交番が出来たそうです。

窃盗や犯罪が増えているのも事実で、事態はさらに深刻だという事が解りました。それでも毎日流れてくるニュースは不安を煽るようなものばかり。福島県はどうなってしまうのでしょうか？風評被害もまた、悲しくなる話ばかりです。なぜ、被害に合った人がまた、人的被害に合わなきゃならないのか。被ばくは人から人にはうつらない事は実証されています。みんなが一つにならなきゃいけないこの時代、一刻も早くこのような二次災害は押さえてほしいと思いました。早く平穏な日々が訪れますように。

猪苗代湖避難所

放射線被曝の影響から強制的避難を強いられている飯館村からの180名の避難者の皆さんへの炊き出し支援を行いました。今回は写真が少ないのですが、また10名の仲間が集まってくれました。郡山と違ってホテルプルミエール箕輪というホテルだったので、比較的「楽」な作業となりました。というのも、水も使える、厨房も使えるなので、テント設営した陸前高田とは大違いでした。水も軟水99という、ラーメンに最も適した水だったので、すっきりとしたスープでいつも食べているメンバーも驚くくらい味がレベルアップしました。



また涼しくなったら炊き出しは再開予定です。福島には我々が知らない悲しい現状がまだまだ沢山あると思います。完全復興という言葉さえ、中々出せない状況を目で見てきた気がします。



災害について日々、様々な情報が飛び交う中、悲痛な福島の方の叫びを見つけました。以下、メールをそのまま転載し、彼女が少し落ち着いてから注釈つけたものになります。
=====

もうホントに精神的にギリギリなんだ。怒りと不安と心配で頭がおかしくなりそうなんだ
TVでは本当のことをいってくれない、行政の発表もうそ
ネット環境やTVやラジオがない人達は行政の言葉を信じて街から脱出しないで残っていた
毎日毎日状況は悪くなっていったのにまだ避難区域じゃないからって残ってた。それが今日の事故で放射能濃度が上がってやっと範囲を広げた。でもガソリンがないのをしってるから屋内待避の指示。
昨日までの避難区域の放射能濃度より何百倍もあがったのに避難指示を出さないんだよ
自衛隊も警察も原町からいなくなった。それでも市民はまだ待避だからって残ったんだ。
なのに今度は自主避難指示がでた自主避難って今頃言われてもガソリンもないのに！
行政を信じて逃げなかった住民に対して移動手段がなくなった後に自分でなんとかしろってどういうことなの？
ホントに危なくなったら行政がバスもってくるからそれに乗ってみんなで逃げるって親父は言った。
今日昼にメールしたときにはまだ避難するつもりすらなかった。
「避難所にも物資の供給が止まってる。放射能があるから物資もこないって」

南相馬市の人達は国と行政に見殺しにされるの？
津波からも地震からも助かったのに最後には人間に殺されるの？

この状況を日本人はほとんど知らない。
原発が最初に爆発してから報道はみんないなくなったから、原発の及ばない宮城や岩手ばかりを取材してる

この現状をみんなに知ってもらいたい みんなに知ってほしい
考えると涙が出るから考えないようにして必死に毎日情報を探した。
泣いているとTVも文字も見えないから必死に自分を立て直した。私だって地震と津波から助かった時に心配することから解放されたかった。助かったのに毎日毎日状況が悪くなるなんて思いもしなかった。

こういう今なんだ。もう自分自身をどうしたらいいかわからないんだ。だからごめん

(個人が友人へあてたメールなので当時知り得なかった事実と異なる部分があります)

※行政の発表がうそ

TVではすでに20km圏まで避難指示となっていたが、避難範囲が10kmのままだった。
屋内待避指示は政府から言い渡されたが、その後状況が悪化しても政府からの指示がなかったため行政の判断判断で『避難を希望者する人は自主的に』の旨が防災無線で流れる。南相馬市長によると国からも県からも情報が下りてこず、行政ですらTVの報道で情報を得ていた。なので、実際にはうそを言っていたわけではなく、情報不足によって行政としての判断・市民への伝達大幅に遅れた。うそに当たると言えば、20km避難範囲の避難完了の発表。
実際には避難できず取り残された住民が少なくとも10人はいた。

※放射能度が上がった

一時的に数値が上がったのか、南相馬市ではなく原発での測定値だったのか激しく動転していたため覚えていない。多分後者。数値に関してもショックによる勘違いかもしれないが、それまでの発表で1桁だった測定値が400まで上がったと記憶している。17日現在の南相馬市の放射能測定値は3マイクロシーベルトと微量。もちろん健康的には問題がない。

※自衛隊も警察もいなくなった 自衛隊は防衛省からの撤退命令により撤退。その後また戻ってきているが、警察は機能停止。

※バス

17日、杉並区と千葉県から住民を避難させるバスが到着。国よりも地方自治体や民間が積極的に動いてくれている。
=====

ここまで読んでくださった方はありがとうございました。彼女のご両親は無事に昨夜東京に入られたそうです。
もっともっと、避難出来る状況をなんとか！
一人に出来ることなど限られていますが、小さな力でも集まれば大きな力になると信じて...